

美 夢

みらい

～子どもたちは未来からの留学生～



■問い合わせ先 生涯学習文化課 ☎(32)8919

下野市青少年育成市民会議は、今年で設立15年目を迎えました。市内自治会員の皆さま、賛助・特別会員の皆さまによる温かいご奉仕によって、滞りなく事業を進められていることに、改めてお礼申し上げます。お陰さまで、市内の子どもたちの多くの活動を支援することができました。

設立15年を迎えた今、原点に立ち返ろうと動き始めたところです。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年度総会は紙面開催

今年度も、新型コロナウイルスの影響を考慮し、残念ながら紙上でのアンケート方式の開催となりました。皆さまから貴重なご意見をいただいておりますので、それらを基に、コロナ禍でもできる活動を模索していきます。

小中学校音楽祭の中止

小中学校音楽祭は、音楽を通じた児童生徒の心身の育成と親睦を目的に、これまで10回、開催しています。回を重ねるごとに参加校の数も増え、内容も充実したものになってきました。当会議とPTA関係者などで構成された「実行委員会」形式で運営しており、他地区に誇れる取り組みです。

今年度は新型コロナウイルスの影響で中止しました。

親子学び合い事業

(ネット時代の歩き方講習会)

現代を生きる中、スマートフォン等の情報機器とどう向き合えばいいのかが、親子で共に考えるのが、親子学び合い事業です。

■講師 下田太一氏 (NPO法人青少年メディア研究協会理事長)



吉田西小の参加者の感想

インターネットは、人とお店、人と人、人と図書館を結ぶものだという部分に納得した。スマホがあることに感謝し、目的をもって使いたい。(6年・男子)

スマホは、便利だけど誘われやすいもの。これからスマホを持ったら、頼りすぎないで使っていきたい。(5年・女子)

便利だからこそよく考えて判断することが大切だと、改めて考えさせられた。(保護者)

石橋中学校の参加者の感想

インターネットはとても便利だが、間違った使い方をすれば非常に危険であると分かった。簡単に調べ物ができたり、家においても気軽に友人と連絡を取ることができたりと、スマホを使うことで生活が変化したことを私自身も実感している。今日学んだことを生かし、正しく使うよう心掛けたい。(2年・男子)



令和2年度決算報告

収入 1,681,115円

項目	収入済額	備考
会費	1,341,500円	南河内地区 388,100円
		石橋地区 535,100円
		国分寺地区 418,300円
補助金	30,000円	とちぎ未来づくり財団
繰越金	309,609円	前年度繰越金
雑収入	6円	預金利子

支出 1,038,388円

項目	支出済額	備考
運営費	107,080円	会議、通信費など
活動費	882,648円	横断旗や消毒液購入など
支援事業費	30,000円	青少年育成事業
交際費	18,660円	謝礼



下半期の事業予定

子どもなんでも発表会

子どもたちが自主的に好きなことを発表する機会を設け、自己肯定感を高めるために実施している、特色ある取り組みです。

通学路安全横断旗の配布

児童・生徒の登下校時、各通学路で使用していただくため、横断旗を作成し、希望する学校に配布します。